

【消費生活の窓口から】

餅による窒息にご注意を！

～死亡事故も起きています～

餅による窒息事故が毎年起きています。特に高齢者は、かむ力や飲み込む力が弱くなり、窒息事故のリスクが高まるため、一層の注意が必要です。

- 〈事例〉・食事中に 5 センチ大の餅がのどに詰まり、突然うなり声をあげて倒れた。救急車で運ばれ、病院で処置してもらったが、死亡した。(80 歳代 男性)
- ・食事中に餅をのどに詰まらせ意識を失ったため、夫が救急車を呼んだ。病院で治療を受けたが、翌日死亡した。(70 歳代 女性)



【アドバイス】

- ◆餅はあらかじめ食べやすい大きさに、小さく切っておきましょう。
- ◆餅を食べる前にお茶や汁物を飲んで、のどを潤しておきましょう。ゆっくりかんで、唾液とよく混ぜ合わせて食べることが大切です。
- ◆高齢者と一緒に食事をする際は、よく注意を払いましょう。

※出典：国民生活センターホームページ

[「死亡事故も！ 餅による窒息に注意 \(PDF\)」](#)

※ご相談・お問い合わせ先

中山町消費生活相談窓口（住民税務課 住民G内） ☎ 6 6 2 - 2 5 9 3